

い状況です。テレビモニターであれば、この問題は解消され、他の地域の学校との情報交流や学習の視野が広がると思います。予算の問題があるのであれば、遮光カーテンを設置することで、この問題の解決につなげてほしいです。

答 弁 現在のプロジェクトは、機器の経年劣化によって、整備当時よりも見づらくなっていることを確認しております。今後に向けて、これを大きな課題と捉えて、ICTを活用した授業により、児童生徒の皆さんの学習意欲が高まるよう、テレビモニター等の環境整備を検討していきたいと思っています。



西村 真歩さん

質問

幌延町では、酪農

業の借入金利息や農用地等の賃借料に対する補助制度があります。それらは、新規就農者に対する支援であって、既に就農しているところは該当しません。そこで、既に就農している人にも機械やトラクターの導入、更新に対する補助をしてはどうでしょうか。他町にはない支援をすることで、幌延町で酪農をしたいと思う人が増えると思います。補助金に関しての町長の考えをお伺いします。

答 弁 幌延町には、新規就農者に対する支援策を用意しています。また、既に農業を営んでいる方に対しても、初妊牛の購入費用や施設の補修や機械装置の更新費用、草地の改良や更新に係る牧草種子の購入費用に対する補助制度などの支援策があり、酪農経営を頑張ってもらえるよう町としても応援しています。その他、酪農ヘルパーを確保

するための補助制度など、様々な支援を行っています。今ある支援策をPRするとともに、酪農家の皆さんから意見を聞いた上で、効果的な支援策を考え幌延町の酪農を元気にすることができればと考えています。



橋本 爽花さん

質問

幌延町は、空き家

バンク対策をやっていますが、これから空き家が増えると考えています。空き家バンク対策も必要だと思います。また、空き家を増やさない対策も必要だと思います。例えば、空き家になりそうな家を町で借り受け、町営住宅として貸し出すなどの方法が考えられます。

答 弁 国の空家に関する法律では、市町村は、空家等対策計画の作成や対策を

適切に講じなければならな

いとされています。幌延町では、空家等対策計画を策定し、町内の空家等に対する取組みを実施しています。橋本さんが考えるのとおり、空き家を発生させないことが重要であり、所有者等の意向が最優先です。で、空き家になる前から所有者等に対しての意識啓発が重要と考えています。相続により空き家となる場合が少なくないことから、譲渡所得特別控除や固定資産税の軽減特例等について、情報提供を行い、窓口相談等の体制を整えています。また、町内の空き家情報等をホームページで紹介して、空き地9件、空き家8件の契約が成立しています。空き家を増やさず、活用されるために、空き家・空き地バンクの一層の活用促進を図るほか、町への寄附制度等の検討を進めた

とを考えています。

質問 3年後、中学校の体育館と校舎の一部を残してほしいと思っています。ハザードマップを見ると、校舎のすべてが危険区域に掛かっているわけではないので、掛かっている部分だけ活用することは可能ではないでしょうか。社会福祉施設や地域交流施設、企業に貸すことで地域の活性化が期待されます。学校を広く活用するために町民にアンケートを取ってアイデアを募集してみてもいいでしょうか。

答 弁 現在の中学校は、校地の一部が、土砂災害危険区域に指定されているため、校舎を継続して利用することは難しいと考えており、今後の活用法は、まだ決定していません。校舎の



日野 成美さん